

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
地域住宅計画に基づく事業	A15-001	住宅	一般	甲賀市	直接	市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	老朽化住宅改善事業（外壁改修、設備・防水改修等）	甲賀市	■	■	■	■	■	218		策定済	
	A15-002	住宅	一般	甲賀市	直接	市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（公営住宅等ストック総合改善事業）	長寿命化計画見直し事業	甲賀市				■			5		策定済
	A15-003	住宅	一般	甲賀市	間接	民間	-	-	地域住宅計画に基づく事業（空き家再生等推進事業）	除却事業、活用事業	甲賀市	■	■	■	■	■		19		策定済
	A15-004	住宅	一般	甲賀市	直接	市	-	-	地域住宅計画に基づく事業（空き家再生等推進事業）	除却事業	甲賀市			■	■	■	■	8		策定済
											小計							250		
										合計							250			

事前評価チェックシート

計画の名称： 甲賀市地域住宅整備計画

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
I. 目標の妥当性 地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性 関連する各種計画（住生活基本計画等）との整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	
II. 計画の効果・効率性 事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	
II. 計画の効果・効率性 地域の実情に応じた創意工夫に基づく事業が盛り込まれている。	○
II. 計画の効果・効率性 地域再生計画に地域住宅交付金の活用についての記載をしており、内閣総理大臣の評価を受けている。	
III. 計画の実現可能性 事業熟度が十分である。	○

[illegible]